

特別講演会

1920年代フランスにおける オペラとバレエ



バクスト作
『牧神の午後』
ニジンスキーのための衣装
デザイン画

モンペリエ第三大学 ジョジョアーヌ・マス教授

かつて王侯貴族の娯楽だったバレエは、20世紀に入って、ロシア・バレエ、ジャン・コクトーの創作バレエなどによって、総合芸術として開花します。その歴史を、具体的にたどってみましょう。(通訳つき 無料)

日時 10月19日(金) 16:30～

場所 LL第2教室(文学部南棟3階)

主催 奈良女子大学文学部フランス語教室

0742-20-3292/3293

後援 日本フランス語フランス文学会 奈良日仏協会